

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 3. 28

下水道機構の『新技術情報』 第277号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

人事異動の季節ですね。下水道ホットインフォメーションご担当の国交省の岩崎さんも異動されるとのこと。岩崎さんいつもタイムリーで貴重な情報をありがとうございました!(^^)!読者のみなさんの中にも新たな職場へ異動される方がいらっしゃるかと思います。現業務の引継ぎや新しい業務の引継ぎと慌ただしい日が続きますが、どうぞ自愛くださいね(^_-)☆

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第277号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・3月の技術サロンは、国土交通省水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 事業マネジメント推進室 課長補佐 安永 英治氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は、3/29(水)に新技術研究感謝状贈呈式を、3/30(木)に建設技術審査証明事業(下水道技術) 証明書交付式を開催します

■Tea Break

・下水道新技術機構での3年間を振り返って
(技術評価部 早川樹男さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・今回のゆいまーるは、お休みです

■国からの情報

・3/17 付下水道ホットインフォメーション

●3月の技術サロンは、国土交通省水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 事業マネジメント推進室 課長補佐 安永 英治氏をお迎えして開催しました

今回のテーマは、「i-Gesuido の推進について～ICTの活用により、下水道事業の「持続」と「進化」を実践！～」でした。

i-Gesuido は、下水道人材の減少等、下水道事業の抱える様々な課題に対して、ICTを活用して効率的な事業実施が可能な4本の柱【①BIM/CIM（3次元モデル活用による設計・施工・維持管理の効率化）、②ストックマネジメント（施設管理の効率化）、③水処理革命（省エネ、経費削減、集中管理、自動化、処理水質の安定化）、④雨水管理スマート化2.0（IoTやビッグデータ活用による浸水対策）】を中心に施策を展開し、より効率的な下水道事業とすることを目指すものです。処理場・ポンプ場を3次元モデル化したBIM/CIMの導入による設計内容や施設情報の可視化、浸水リスク情報システム構築や雨水管理技術等のB-DASH技術の導入支援など、国が目指すICT技術による下水道事業の「持続」と「進化」の方向性について、そのロードマップ等を含めご説明いただきました。また、同時に、ICTを活用して他分野との連携する取組等についても今後検討を進め、社会の多様な分野に貢献していきたいとのことでした。

さて、次回のサロンは、4月13日（木）16:00から17:00での開催となります。ゲストは東京都下水道局 計画調整部 技術開発課長 大塚文昭氏をお迎えして、「『技術開発推進計画2016』～未来（あす）の暮らしと環境を育む下水道技術～」をテーマに開催します。

なお、平成29年度より開始時間が17時から16時になりますので、お間違えのないようお願いいたします。

※4月の技術サロンは定員に達したため募集を締め切っております。たくさんの参加申込ありがとうございました。

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●行 事：平成28年度新技術研究感謝状贈呈式

場 所：機構8階 中会議室

日 時：平成29年3月29日（水） 15:00～16:00

※平成28年度に終了した共同研究3件について、新技術研究感謝状贈呈式を開催します

●行 事：平成28年度建設技術審査証明事業（下水道技術）証明書交付式

場 所：機構8階 特別会議室

日 時：平成29年3月30日（木） 13:30～

※平成28年度建設技術審査証明事業（下水道技術）証明書につきましては3/7に50技術について交付したところですが、その後3件について開発目標の確認が行われ、委員会からの答申があり交付式を行うものです。

○行 事：第358回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 4 月 13 日(木) 16:00～17:00

※平成 29 年 4 月より開催時間が変更になりますのでお間違えないように！

ゲスト：東京都下水道局 計画調整部 技術開発課長 大塚文昭氏

テーマ：『技術開発推進計画 2016』～明日の暮らしと環境を育む下水道技術～

※4 月の技術サロンは定員に達したため募集を締め切っております。たくさんの参加
申込ありがとうございました。

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●下水道新技術機構での 3 年間を振り返って

(技術評価部 早川樹男さんからの投稿です)

4 月末で、(公財)日本下水道新技術機構の出向期間が終了となります。思えば長い
ようで短かった 3 年間でした。出向の当初は、機構自体がどのような事業をしている
のかも知りませんでしたが、諸先輩方の指導により何とか、出向期間を無事に過ごす
ことができました。

そして、研究機関、官公庁、民間企業の方と一緒にさせて頂き、様々な技術や仕事
の進め方等について学ぶことができ、大変有意義な経験をさせて頂いたと思います。
また、下水道職員健康駅伝大会に出場したことも、良い思い出となりました。

機構での経験を、オリジナル設計(株)に戻ってから携わる業務に生かし、3 年とい
う間にお会いした方と、どちらかで再び仕事ができれば幸いと思っております。

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●今回のゆいまーるは、お休みです

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.3.24 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

今年度も残すところ1週間となり、本日人事異動の内示がありました。私事ですが、国土技術政策総合研究所下水道研究室長に異動することとなりました。財務視察の関係や予算の関係等でお世話になった方々、ありがとうございました。皆様、国総研へお気軽にお越しいただけると幸いです。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○浜松市が3月21日にコンセッション方式の優先交渉権者を決定（国土交通省）

○下水道技術開発レポート2016を公表（国総研下水道研究部）

○東北楽天ゴールデンイーグルスのデザインマンホールを設置します（仙台市）

=====

○浜松市が3月21日にコンセッション方式の優先交渉権者を決定（国土交通省）

浜松市では平成30年に事業開始予定の西遠処理区のコンセッション事業について優先交渉権者（ヴェオリア・JFEエンジ・オリックス・東急建設・須山建設グループ）を決定しました。ヴェオリアグループが提示した運営権対価は25億円であり、運営権対価も考慮したVFMは14.4%と試算されています。（平成29年3月21日優先交渉権者選定結果より）

国土交通省では、下水道の機能・サービスの水準を持続的に確保し、新たなビジネス機会の創出・地域経済の循環を実現するため、コンセッション方式等のPPP/PFI手法の導入を推進しています。

優先交渉権者の選定に関する手続き等については、浜松市のホームページをご覧ください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/suidow-s/gesui/seien/pfi.html#yuusenkoukyoukensya-sennteikekka>

○下水道技術開発レポート2016を公表（国総研下水道研究部）

下水道技術開発会議（座長：国総研下水道研究部長）では、平成28年度の検討成果を「下水道技術開発レポート2016」として公表しました。

本レポートでは、今回初めて明らかになった下水道実施都市の技術ニーズの傾向や新技術導入上の課題とともに、下水道技術ビジョンへの最新の研究開発動向の反映結果や、研究開発を重点化すべき技術の選定結果などを掲載しています。

本レポートは、国総研ホームページからダウンロード可能です。

http://www.nilim.go.jp/lab/eag/gesuidougi_jyutsukai_hatsureport.html

○東北楽天ゴールデンイーグルスのデザインマンホールを設置します（仙台市）

仙台市では、仙台デザインマンホールプロジェクトの第1弾として、仙台市、楽天

野球団、仙台駅東口商工事業協同組合の連携により、JR 仙台駅から楽天 Kobo スタジアム宮城までの宮城野通り歩道部に東北楽天ゴールデンイーグルスをイメージしたデザインプレート型のデザインマンホールを 21 箇所設置します。

4 月 2 日にお披露目会も開催されることとなりました。

<http://www.city.sendai.jp/sesakukoho/gaiyo/shichoshitsu/kaiken/2017/03/170321eagles2.html>

第 2 弾以降についても検討を進めていく予定ですのでご期待ください。

【参考情報】

◆浜松市で下水道初の運営権 仏ヴェオリア陣営が取得〈3/21 日経新聞〉

http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ21HIL_R20C17A3000000/

◆下水道でも「コンセッション」 浜松市が第 1 号〈3/22 日経新聞〉

http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ21I5P_R20C17A3EA1000/

◆マンホールカードに恐竜王国登場 フクイラプトルをモチーフに〈3/23 福井新聞〉

<http://www.fukuishimbun.co.jp/localnews/dinosaur/117744.html>

◆浜松市下水道 民間運営に…3 施設〈3/22 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/shizuoka/news/20170321-0YTNT50162.html>

◆ご当地コースター登場 マンホールのふたデザイン〈3/21 神戸新聞〉

<https://www.kobe-np.co.jp/news/akashi/201703/0010021836.shtml>

◆〈近江と人と〉水の浄化技術 海外へ〈3/20 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/shiga/news/20170319-0YTNT50216.html>

◆「下水道ならまかせなさい！」大阪市が海外受注視野に新会社設立 民営化へ第一歩
〈3/19 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/west/news/170319/wst1703190019-n1.html>

◆「マンホールカード」第 4 弾、4 月 3 日配布開始 「ふた」50 種類が新たに追加〈3/18 エキサイトニュース〉

http://www.excite.co.jp/News/economy_c1m/20170318/Trafficnews_66485.html

◆佐賀市バイオマス事業 基本設計 4 カ月遅れ〈3/18 佐賀新聞〉

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/414660>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20161031/>
